

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
共通基礎科目		「大学での学び」基礎論	講義	1		LASFS0910J, E	大学とは何か、大学で学ぶとはいかなることか、大学での学びを充実したものにするにはどのような知恵が必要かについて理解し、主体的な学習者としての態度の核を形成します。
	基礎セミナー	基礎セミナー	演習	2	全学部（医学部医学科以外）を対象	LASFS0900J, E	少人数のセミナーの形式で、大学で学び研究するための最も基本的なスキル（コモン・ベーシック）としての読み（文献調査、考察、検討）、書き（まとめ、報告書作成）、話す（討論、発表）を中心とした多面的な知的トレーニングを行います。さらに「知の探究のプロセス」と「学問の面白さ」を学び、自立的学習能力を身につけることを目的としています。教員の研究分野に応じて多様なテーマが用意されています。
		基礎セミナーA	演習	2	医学部医学科を対象	LASFS0901J	少人数のセミナーの形式で、大学で学び研究するための最も基本的なスキル（コモン・ベーシック）としての読み（文献調査、考察、検討）、書き（まとめ、報告書作成）、話す（討論、発表）を中心とした多面的な知的トレーニングを行います。さらに「知の探究のプロセス」と「学問の面白さ」を学び、自立的学習能力を身につけることを目的としています。教員の研究分野に応じて多様なテーマが用意されています。
		基礎セミナーB	演習	2	医学部医学科を対象	LASFS0902J	少人数のセミナーの形式で、大学で学び研究するための最も基本的なスキル（コモン・ベーシック）としての読み（文献調査、考察、検討）、書き（まとめ、報告書作成）、話す（討論、発表）を中心とした多面的な知的トレーニングを行います。基礎セミナーAに加えて、さらに「知の探究のプロセス」と「学問の面白さ」を学び、自立的学習能力を身につけることを目的としています。教員の研究分野に応じて多様なテーマが用意されています。
言語文化科目	英語	英語（サバイバル）	演習	1	随意科目	LASLC0100J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。大量の英文を集中的に読むことで、英語のリーディング力を伸ばし、あわせて語彙力・文法力を高める授業を行います。
		英語（基礎）	演習	2		LASLC0101J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。そのねらいは、研究拠点大学である名古屋大学の学生にふさわしい学術英語を使いこなす能力を身につけるところにあります。学術的な英文に関する基礎的なリーディング能力とライティング能力を養成します。
		英語（中級）	演習	2		LASLC0102J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。そのねらいは、研究拠点大学である名古屋大学の学生にふさわしい学術英語を使いこなす能力を身につけるところにあります。学術的な英文に関するエッセイレベルのリーディング能力とライティング能力を養成します。
		英語（コミュニケーション）	演習	2		LASLC0103J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。リスニングとスピーキングを主としたコミュニケーションの能力を高め、ディスカッションやプレゼンテーションのための基礎力を養成します。
		英語（上級）	演習	2		LASLC0104J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。学会や社会で求められるプレゼンテーションを行えるよう、リーディング・スピーキング・リスニング・ライティングの各能力を高め、また4技能の統合を目指します。
		英語（セミナー）	演習	2		LASLC0105J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。英語という言語、その言語が培ってきた文化、および現代社会における英語文化についての深い教養を身につけます。
		英語（上級リーディング）1	演習	1		LASLC0106J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。より高度かつ多様な英文読解を行い、英語文化についての深い教養を身につけます。
		英語（上級リーディング）2	演習	1		LASLC0107J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。本授業では、より高度かつ多様な英文読解を行い、英語文化についての深い教養を身につけます。

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
初修外国語	特別英語セミナー（資格試験英語）	演習	2			LASLC1111J	専門的学習のツールとしてさらに外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことを目的とします。少人数授業の利点を生かした学習活動を行い、より高度な英語能力を身につけていきます。本授業で学習するTOEFL-iBTは、交換留学、学位留学を希望する学生にとってIELTSと並んで必要不可欠な語学資格です。リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4セクションで構成されていますが、その中でも本講義は多くの学生が課題としているライティングを中心にこなしていきます。
	特別英語セミナー（A類）	演習	2			LASLC1121E	
	特別英語セミナー（B類）	演習	2			LASLC1122E	
	特別英語セミナー（C類）	演習	2			LASLC1123E	
	多言語修得基礎	演習	1			LASLC0910J	本学で選択できるドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語の6言語を中心に、各言語の特徴やそれが使われる文化圏について触れ、基礎的な発音の実践などを通じて、異文化や異分野への開かれた態度と広く複眼的な視野を持つ教養人の基盤を養います。
	ドイツ語基礎1	演習	2			LASLC0210J	ドイツ語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてドイツ語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
	ドイツ語基礎2	演習	2			LASLC0211J	ドイツ語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてドイツ語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
	ドイツ語初級完成	演習	2			LASLC0212J	ドイツ語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に、国内外を問わずグローバル化する法曹界、政界、ビジネス、教育、文化の場で、相手の価値観・文化的背景を理解した上で戦略的に主張しつつ、円滑で良好な関係を構築するために不可欠な言語文化能力を培います。
	ドイツ語中級1	演習	2			LASLC1210J	ドイツ語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、ドイツ語の応用力を養成します。特に、ドイツ語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
	ドイツ語中級2	演習	2			LASLC1211J	ドイツ語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、ドイツ語の応用力を養成します。特に、ドイツ語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
	ドイツ語中級	演習	2			LASLC1212J	ドイツ語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、ドイツ語の応用力を養成します。特に、ドイツ語圏の言語文化を研究対象とする学生に奨励されます。
	ドイツ語上級	演習	2			LASLC1213J	学生の必要に応じて、より高度な異文化理解・異文化コミュニケーションの能力を育てるための上級会話授業や高度な文献講読の授業などを行います。
	フランス語基礎1	演習	2			LASLC0310J	フランス語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてフランス語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
	フランス語基礎2	演習	2			LASLC0311J	フランス語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてフランス語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
フランス語初級完成	演習	2			LASLC0312J	フランス語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に、国内外を問わずグローバル化する法曹界、政界、ビジネス、教育、文化の場で、相手の価値観・文化的背景を理解した上で戦略的に主張しつつ、円滑で良好な関係を構築するために不可欠な言語文化能力を培います。	
フランス語中級1	演習	2			LASLC1310J	フランス語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、フランス語の応用力を養成します。特に、フランス語圏の言語文化を研究対象とする向け学生に奨励されます。	
フランス語中級2	演習	2			LASLC1311J	フランス語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、フランス語の応用力を養成します。特に、フランス語圏の言語文化を研究対象とする向け学生に奨励されます。	

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
		フランス語中級	演習	2		LASLC1312J	フランス語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、フランス語の応用力を養成します。特に、フランス語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		フランス語上級	演習	2		LASLC1313J	学生の必要に応じて、より高度な異文化理解・異文化コミュニケーションの能力を育てるための上級会話授業や高度な文献講読の授業などを行います。
		ロシア語基礎1	演習	2		LASLC0410J	ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてロシア語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
		ロシア語基礎2	演習	2		LASLC0411J	ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてロシア語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
		ロシア語初級完成	演習	2		LASLC0412J	ロシア語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に、国内外を問わずグローバル化する法曹界、政界、ビジネス、教育、文化の場で、相手の価値観・文化的背景を理解した上で戦略的に主張しつつ、円滑で良好な関係を構築するために不可欠な言語文化能力を培います。
		ロシア語中級1	演習	2		LASLC1410J	ロシア語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、ロシア語の応用力を養成します。特に、ロシア語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		ロシア語中級2	演習	2		LASLC1411J	ロシア語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、ロシア語の応用力を養成します。特に、ロシア語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		ロシア語中級	演習	2		LASLC1412J	ロシア語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、ロシア語の応用力を養成します。特に、ロシア語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		ロシア語上級	演習	2		LASLC1413J	学生の必要に応じて、より高度な異文化理解・異文化コミュニケーションの能力を育てるための上級会話授業や高度な文献講読の授業などを行います。
		中国語基礎1	演習	2		LASLC0510J	中国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて中国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
		中国語基礎2	演習	2		LASLC0511J	中国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて中国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
		中国語初級完成	演習	2		LASLC0512J	中国語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に、国内外を問わずグローバル化する法曹界、政界、ビジネス、教育、文化の場で、相手の価値観・文化的背景を理解した上で戦略的に主張しつつ、円滑で良好な関係を構築するために不可欠な言語文化能力を培います。
		中国語中級1	演習	2		LASLC1510J	中国語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、中国語の応用力を養成します。特に、中国語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		中国語中級2	演習	2		LASLC1511J	中国語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、中国語の応用力を養成します。特に、中国語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		中国語中級	演習	2		LASLC1512J	中国語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、中国語の応用力を養成します。特に、中国語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		中国語上級	演習	2		LASLC1513J	学生の必要に応じて、より高度な異文化理解・異文化コミュニケーションの能力を育てるための上級会話授業や高度な文献講読の授業などを行います。
		スペイン語基礎1	演習	2		LASLC0610J	スペイン語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてスペイン語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
		スペイン語基礎2	演習	2		LASLC0611J	スペイン語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてスペイン語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
		スペイン語初級完成	演習	2		LASLC0612J	スペイン語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に、国内外を問わずグローバル化する法曹界、政界、ビジネス、教育、文化の場で、相手の価値観・文化的背景を理解した上で戦略的に主張しつつ、円滑で良好な関係を構築するために不可欠な言語文化能力を培います。
		スペイン語中級1	演習	2		LASLC1610J	スペイン語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、スペイン語の応用力を養成します。特に、スペイン語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		スペイン語中級2	演習	2		LASLC1611J	スペイン語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、スペイン語の応用力を養成します。特に、スペイン語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		スペイン語中級	演習	2		LASLC1612J	スペイン語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、スペイン語の応用力を養成します。特に、スペイン語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		スペイン語上級	演習	2		LASLC1613J	学生の必要に応じて、より高度な異文化理解・異文化コミュニケーションの能力を育てるための上級会話授業や高度な文献講読の授業などを行います。
		朝鮮・韓国語基礎1	演習	2		LASLC0710J	朝鮮・韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて朝鮮・韓国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
		朝鮮・韓国語基礎2	演習	2		LASLC0711J	朝鮮・韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて朝鮮・韓国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。
		朝鮮・韓国語初級完成	演習	2		LASLC0712J	朝鮮・韓国語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に、国内外を問わずグローバル化する法曹界、政界、ビジネス、教育、文化の場で、相手の価値観・文化的背景を理解した上で戦略的に主張しつつ、円滑で良好な関係を構築するために不可欠な言語文化能力を培います。
		朝鮮・韓国語中級1	演習	2		LASLC1710J	朝鮮・韓国語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、朝鮮・韓国語の応用力を養成します。特に、朝鮮・韓国語文化圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		朝鮮・韓国語中級2	演習	2		LASLC1711J	朝鮮・韓国語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、朝鮮・韓国語の応用力を養成します。特に、朝鮮・韓国語文化圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		朝鮮・韓国語中級	演習	2		LASLC1712J	朝鮮・韓国語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、朝鮮・韓国語の応用力を養成します。特に、朝鮮・韓国語文化圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
		朝鮮・韓国語上級	演習	2		LASLC1713J	学生の必要に応じて、より高度な異文化理解・異文化コミュニケーションの能力を育てるための上級会話授業や高度な文献講読の授業などを行います。
		イタリア語基礎1	演習	2		LASLC0910J	イタリア語を初めて学ぶ受講生を対象に、イタリア語の基礎を学ぶための科目です。バランスよくイタリア語を学べるよう、基礎文法の学習だけでなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行ないます。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景知識を学習することによりイタリア語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とします。
		イタリア語基礎2	演習	2		LASLC0911J	イタリア語の初歩的な知識を身につけた受講生を対象に、「イタリア語基礎1」に引き続き、イタリア語の基礎を学ぶための科目です。バランスよくイタリア語を学べるよう、基礎文法の学習だけでなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行ないます。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景知識を学習することによりイタリア語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とします。

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的	
		ポルトガル語基礎1	演習	2		LASLC0910J	新たにポルトガル語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象とする、ポルトガル語の基礎を学ぶための科目です。バランスよくポルトガル語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行ない、「読む・書く・聞く・話す」の全般にわたる初歩的運用能力を養成します。併せて、ポルトガル語圏の文化・風俗・歴史・社会事情などに触れることにより、学生の知的好奇心を刺激し国際的視野の醸成を図る一歩とします。	
		ポルトガル語基礎2	演習	2		LASLC0911J	初歩的なポルトガル語の知識と運用能力を身につけた学生を対象に、「ポルトガル語基礎1」に引き続き、ポルトガル語の基礎を学ぶための科目です。バランスよくポルトガル語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行い、「読む・書く・聞く・話す」の全般にわたる基礎的運用能力を養成します。併せて、ポルトガル語圏の文化・風俗・歴史・社会事情などに触れることにより、学生の知的好奇心を刺激し国際的視野をさらに広げます。	
	日本語	日本語文章表現法	演習	2	外国人留学生を対象	LASLC0810J	外国人留学生を対象に、日本語によるアカデミック・ライティングの基礎を学び、レポートを執筆します。目的に合ったレポートの構成や書き方を学び、文献を引用しながらレポートを書くことができるようになることを目指します。	
	日本語口頭表現法	演習	2	外国人留学生を対象	LASLC0811J	外国人留学生を対象に、日本語によるアカデミック・プレゼンテーションの基礎を学び、図やグラフ等のデータに基づいてプレゼンテーションを行うことができるようになることを目指します。		
	多文化コミュニケーション論	演習	2	外国人留学生を対象	LASLC0812J	外国人留学生を対象に、日本の社会、文化を理解し、大学生として多文化を理解し、コミュニケーションを行うことができるようになることを目指します。		
	日本語総合演習1	演習	2	外国人留学生を対象	LASLC1810J	外国人留学生を対象に、問題解決型の学習を行うための読む、書く、聴く、話すの日本語の四技能の総合的な上達を図ります。テーマやトピックを決めてデータ収集、分析、考察を行い、解決策を見出し、論理的な議論を行うことができるようになることを目指します。		
	日本語総合演習2	演習	2	外国人留学生を対象	LASLC1811J	外国人留学生を対象に、日本語による話す、聞く、読む、書く活動を行い、ピアラーニングを通してアカデミックライティングを学びます。論理的な思考や客観的なデータに基づいて、自分のレポートの課題を説明することができるようになることを目指します。		
	レポート・論文作成法	演習	2		LASLC1812J	日本人学生・外国人留学生を対象に、自らテーマを設定し、それに基づいて、論理的なレポート・論文を完成させることを目指します。また、ハンドアウトなどを用いて、他分野の人にわかりやすく説明する能力を身に付けます。		
	健康・スポーツ科学科目	講義	健康・スポーツ科学講義	講義	2		LASHS0900J,E	健康の維持増進に必要な身体に関する科学的知識や、安全で効果的な運動の実践方法についての知識を習得し、自己管理能力を身につけることを目的とします。
		実習	健康・スポーツ科学実習A	実習	1		LASHS0901J,E	運動・スポーツの実践による体力の維持増進に加え、スポーツを通して人間関係を構築する際に重要なコミュニケーション能力を育むことを目的とします。
健康・スポーツ科学実習B			実習	1		LASHS0902J,E	運動・スポーツの楽しさや充実感などを体得するとともに、生涯スポーツの基礎となる運動技能の獲得や体力の維持増進を目的とします。	
データ科学科目	講義	データ科学基礎	講義	1		LASDS0900J,E	社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識と汎用的な分析技能を獲得すること目的とします。そのために、コンピュータリテラシ、データの記述と可視化、確率及び統計の基礎的概念について学びます。その際に、必要に応じて高校レベルの数学を用いた解説を行うことがありますが、受講生が概要を直感的に理解することを優先します。	
	演習	データ科学基礎演習A	演習	1		LASDS0901J,E	社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、講義において習得した知識を基に受講生自身がプログラミングや計算機ツール等によるデータ分析の基礎的スキルを習得することを目的とします。講義で取り扱った計算や分析手法をR、Excel等を用いて受講生自身が実行します（主に文系向け）。	
		データ科学基礎演習B	演習	1		LASDS0902J,E	社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、講義において習得した知識を基に受講生自身がプログラミングや計算機ツール等によるデータ分析の基礎的スキルを習得することを目的とします。講義で取り扱った計算や分析手法をPythonを用いて受講生自身が実行します（主に理系学生向け）。	

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的	
教養科目	国際理解科目	国際関係論	講義	2		LASGL0900J	国際関係論に関する知識を身につけることを通じて、自らの主張を展開する力と文化的社会的な寛容性を兼ね備えた、国際社会で活躍しうる人間に成長するための基礎を築きます。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定されます。
		国際開発学	講義	2		LASGL0901J,E	現在、地球上ではさまざまな領域での社会発展が進む中、世界の国々はいわゆる先進国と途上国に分類されています。国際社会ではこの格差を埋めることが重要となっており、人類が今後どのような開発を国際的に進めていくのかは喫緊の課題です。講義では、それぞれ文化、教育、政治、法律、経済等人文・社会科学等の見地から国際開発がどのような仕組みでなされてきたかを学習し、とりわけ開発途上国で何が問題となっているかを多面的に考察します。
		グローバル化時代の国際社会	講義	2		LASGL0902J,E	グローバル化時代の国際社会に関する知識を身につけることを通じて、自らの主張を展開する力と文化的社会的な寛容性を兼ね備えた、国際社会で活躍しうる人間に成長するための基礎を築く。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定される。
		国際学	講義	2		LASGL0903J,E	グローバル化が進行する中、多くの開発途上国で発展のための多様な努力がなされています。目覚ましい発展を遂げる国もあれば、発展から取り残される国もあります。また、それぞれの国内でも、開発の恩恵に浴する人々と、そうでない人々が出ています。また開発は環境の悪化などの問題も引き起こしています。講義では、諸外国におけるこのような開発の光と影の実態及び法律、政治、社会などの諸側面における対応の現状と課題について考察します。
		グローバル化と国際教育交流	講義	2		LASGL0904J	教育学と社会学の知見を踏まえて、大学における国際教育交流がグローバル化の影響を受けてどのように展開しているのかを学習し、その課題を考察します。また、「大学の国際化」に関する学術研究の一端に触れて、同分野に対する興味関心・向学心を高めることを主目的とします。具体的には、世界の高等教育の国際教育交流政策の動向やそれに関わる概念や理論を概観した上で、日本と名古屋大学を同様事例として学習していきます。
		留学生と日本	講義	2		LASGL0905J,E	外国人留学生と一般学生がディスカッションや協働作業を通じて、日本社会や日本文化に対する理解と相互の理解を深めることを目的とします。名古屋大学およびこの地域で多様な文化を持つ人々が共に学び生活することの意味を考え直し、多文化共生のあり方を模索します。
		日本語教育実践入門	講義	2		LASGL0906J	日本語教育（日本語を外国語としてどのように教えるか）について実際の授業に参加しながら学びます。また、日本語教育の知識の獲得だけでなく、日本人学生と留学生の交流により、異文化理解を進め、グローバル人材としての基礎力を身につけます。
		囲碁と日本文化	講義	2		LASGL0907J,E	国際社会で活躍するためには、自国の伝統文化への深い理解をそなえていることが欠かせません。この授業は、囲碁を学ぶことを通じて日本の伝統文化についての理解を深めることを目的とします。学生が19路盤（一般的な対局盤）で対局ができるようになることを目指します。
	Studium Generale A	講義	2		LASGL0908E	The name "Studium Generale" means "General Studies" in Latin and comes from old European universities, still used in many German universities. Studium Generale A course offers exposure to academic topics from the field of natural sciences, presented at an introductory level. The goal is to expose students to topics outside their major or research field, to different ideas – from both the speakers and other participants. For students from the regular Japanese program it offers an opportunity to experience university lectures in English. The course cultivates a multifaceted view of the world and communication skills, which are fundamental competencies for future members of the society.	

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
	Studium Generale B	講義	2		LASGL0909E	The name "Studium Generale" means "General Studies" in Latin and comes from old European universities, still used in many German universities. Studium Generale B course offers exposure to academic topics from the field of social sciences, presented at an introductory level. The goal is to expose students to topics outside their major or research field, to different ideas – from both the speakers and other participants. For students from the regular Japanese program it offers an opportunity to experience university lectures in English. The course cultivates a multifaceted view of the world and communication skills, which are fundamental competencies for future members of the society.
	Biology in English	講義	2		LASGL0910E	As scientific research is becoming increasingly international, the ability to speak about one's research field in English and access scientific literature in English is a fundamental skill for future scientists. This course provides students with a starting point towards Biology-specific content understanding in English. Students will be exposed to Biology terminology in English in an interactive setting, using project-based approach to learning. Course prerequisites: This course is open to any student at Nagoya University. However, to take the most advantage of this course, students should have (1) a basic knowledge in Biology and (2) an intermediate knowledge of general English language.
	英語・プレゼンテーションA1	講義	2		LASGL0911E	The main goal of this course is for students to learn how to present and interact with people at an international academic conference. Students will learn how to design properly structured PowerPoint slides and handouts. Students will gain experience presenting to students in class. Students will learn the fundamentals of presentation design through class lectures. Students will also practice appropriate conversations for conferences and answer questions during Q&A sessions with a focus on how to strategically answer challenging questions from the audience.
	英語・プレゼンテーションA2	講義	2		LASGL0912E	The main goal of this course is for students to learn how to create presentations for international conferences. Of special importance will be creating handouts and PowerPoint slides that contain the right amount of information to support a thesis statement. To learn how to do present, students will create handouts and PowerPoint slideshows that they will share and present in a multi-disciplinary class. Students will also practice working with research questions and thesis statements.
	英語・プレゼンテーションB1	講義	2		LASGL0913E	The main goal of this course is to help students create academic presentations that meet the standards of academic conferences. Lessons will address the content and structure of professional-level academic presentations as well as strategies for successful delivery, including slide design, speaking style, and body language. Student will gain practical experience with giving presentations, thereby becoming more confident and capable English speakers. They will also improve their speaking, listening, and writing abilities by responding to sample presentations.

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
	英語・プレゼンテーションB2	講義	2		LASGL0914E	<p>The main goal of this course is to help students build upon the skills cultivated in Research Skills B1 and create longer and more sophisticated academic presentations that meet the standards of academic conferences. Lessons will address the content and structure of professional-level academic presentations as well as strategies for successful delivery, including slide design, speaking style, and body language.</p> <p>Student will gain practical experience with giving presentations, thereby becoming more confident and capable English speakers. They will also improve their speaking, listening, and writing abilities by responding to sample presentations.</p>
	フランス語・アカデミックライティングA	講義	2		LASGL0915O	<p>フランス語でアカデミックライティングの基本を学ぶことを目的とします。学生がフランス語の学術論文を読むことができるようにすること及び自分の研究内容の要約がアカデミックなフランス語で書けるようにすることを目指します。授業ではフランス語を使っての卒業論文、レポート、発表をするにあたり、文献の探し方、フランス語での書き方や発表の仕方などをそれぞれの研究テーマを用いて学びます。</p>
	フランス語・アカデミックライティングB	講義	2		LASGL0916O	<p>「フランス語・アカデミックライティングA」の続きです。フランス語でアカデミックライティングの基本を学ぶことを目的とします。学生がフランス語の学術論文を読むことができるようにすること及び自分の研究内容の要約がアカデミックなフランス語で書けるようにすることを目指します。授業ではフランス語を使っての卒業論文、レポート、発表をするにあたり、文献の探し方、フランス語での書き方や発表の仕方などをそれぞれの研究テーマを用いて学びます。</p>
	Introduction to Intercultural Competence	講義	2		LASGL0917E	<p>授業では、異文化間能力の定義、モデル、構成要素と関連する概念（文化、言語文化とアイデンティティ、言語・非言語的コミュニケーション、偏見、ステレオタイプ、一般化、自民族中心主義、文化相対主義）等の異文化間能力の基礎知識と関連する概念を学び、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて理解を深めることで、自身の異文化間能力を伸ばすための素養を養い、国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。</p>
	Immigration in Japan	講義	2		LASGL0918E	<p>日本に滞在する外国人の法的、社会的な地位の分析を行います。特に、出入国管理法の枠組み及び外国人受入れに対する政策に焦点をあてます。基本的に日本における動向を中心とするが、学生各々の国における状況との比較も行います。国際社会への認識・理解を深めることだけでなく、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、コミュニケーション能力をレベルアップする機会が与えられます。</p>
	海外留学準備セミナー	講義	2		LASGL0919J	<p>大学生の海外留学に必要な留学計画力構築、語学力（英語）向上、そして、異文化理解力向上を目的するとともに、この学習機会を提供することで、海外留学に対する興味関心・向上心を高めることを目的とする。</p>
	短期海外研修A（北米）	演習	2		LASGL0930J	<p>北米地域に学外授業（海外研修）、渡航前および帰国後の名古屋での授業を通じて、北米への理解を深めグローバル人材としての素養を得ることを目的とします。</p> <p>[事前授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（研修参加の手続き） ・多文化環境におけるコミュニケーション ・対象国・地域の現代事情 <p>[海外研修]</p> <p>[事後授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果報告会
	短期海外研修B（北米）	演習	2		LASGL0931J	<p>北米地域に学外授業（海外研修）、渡航前および帰国後の名古屋での授業を通じて、北米への理解を深めグローバル人材としての素養を得ることを目的とします。</p> <p>[事前授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（研修参加の手続き） ・多文化環境におけるコミュニケーション ・対象国・地域の現代事情 <p>[海外研修]</p> <p>[事後授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果報告会

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
	短期海外研修C（欧州）	演習	2		LASGL0932J	欧州地域に学外授業（海外研修），渡航前および帰国後の名古屋での授業を通じて，欧州への理解を深めグローバル人材としての素養を得ることを目的とします。 [事前授業] ・オリエンテーション（研修参加の手続き） ・多文化環境におけるコミュニケーション ・対象国・地域の現代事情 [海外研修] [事後授業] ・成果報告会
	短期海外研修D（欧州）	演習	2		LASGL0933J	欧州地域に学外授業（海外研修），渡航前および帰国後の名古屋での授業を通じて，欧州への理解を深めグローバル人材としての素養を得ることを目的とします。 [事前授業] ・オリエンテーション（研修参加の手続き） ・多文化環境におけるコミュニケーション ・対象国・地域の現代事情 [海外研修] [事後授業] ・成果報告会
	短期海外研修E（アジア・オセアニア）	演習	2		LASGL0934J	アジア・オセアニア地域に学外授業（海外研修），渡航前および帰国後の名古屋での授業を通じて，アジア・オセアニアへの理解を深めグローバル人材としての素養を得ることを目的とします。 [事前授業] ・オリエンテーション（研修参加の手続き） ・多文化環境におけるコミュニケーション ・対象国・地域の現代事情 [海外研修] [事後授業] ・成果報告会
	短期海外研修F（アジア・オセアニア）	演習	2		LASGL0935J	アジア・オセアニア地域に学外授業（海外研修），渡航前および帰国後の名古屋での授業を通じて，アジア・オセアニアへの理解を深めグローバル人材としての素養を得ることを目的とします。 [事前授業] ・オリエンテーション（研修参加の手続き） ・多文化環境におけるコミュニケーション ・対象国・地域の現代事情 [海外研修] [事後授業] ・成果報告会
	海外言語文化演習（英語）	演習	2		LASGL0936J	専門的学習のツールとして外国語の能力を高め，異文化理解を深めて，国際社会に相応しい教養を育むことが目的です。本授業では，より高度かつ多様な英文読解を行い，英語文化についての深い教養を身につけます。英語圏の大学において英語の短期研修に参加することにより，英語のコミュニケーション能力（話す，聞く）を向上させるとともに，受講生自らが設定するプロジェクトを通して，自立的な学習による問題解決能力および国際的な適応力を育成します。
	海外言語文化演習（ドイツ）1	演習	1		LASGL0937J	ドイツ語を半年以上学んだ受講生を対象に，ドイツ語圏の文化について，「文学」「芸術」「音楽」「歴史」「社会」など，多角的な方面から学びます。視聴覚資料を活用して生きたドイツ文化を吸収し，ドイツ語圏についての知識を深めることにより，ドイツ語学習がより楽しいものとなることをめざしています。
	海外言語文化演習（ドイツ）2	演習	1		LASGL0938J	フライブルク大学で行われる，会話トレーニングに重点を置いた短期ドイツ語研修プログラムです。語学学習でより実践的なドイツ語を身につけてもらうことだけでなく，文化体験・見学活動を通して，様々な形でドイツという国を体感してもらうことをめざしています。
	海外言語文化演習（フランス）1	演習	1		LASGL0939J	フランスおよびフランス語について多面的に学び，広範な知識を得ることを目的とします。そうした知識は，専門領域に関する深い理解や多様な視点の獲得等へとつながり，研究や社会生活において大いに有益となるでしょう。
	海外言語文化演習（フランス）2	演習	1		LASGL0940J	フランス・ストラスブール大学で短期研修を行います。この研修は，フランス語によるコミュニケーション力の向上と，フランスおよびヨーロッパの社会や文化の理解を目的とします。海外ならではの体験を通じ，多くを学ぶことができます。また，学生時代の早い時期に異文化体験をすることにより，その後の学生生活での目的意識を高めたり，進路選択の幅を広げることが可能となるでしょう。

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
		海外言語文化演習（中国）1	演習	1		LASGL0941J	中国語初級・中級の受講生を対象に、中国語・中華文化圏の文化や社会について、多角的に学びます。中国をめぐる様々なトピックに関する知識を深めることにより、日頃の中国語学習をより楽しく実り多いものとするをめざします。
		海外言語文化演習（中国）2	演習	1		LASGL0942J	上海の同済大学で8月に開催される15日間の短期海外派遣プログラムに参加します。日常生活で使用する基本的な文法と語彙を、実践的な練習を通じて運用できるレベルに到達することを目標とします。中国現地では語学研修の授業を受講するだけでなく、様々な文化活動に参加することによって、実践的な語学の運用力を高め、また中国の文化・社会への理解を深めることをめざします。
		EMI科目	-	-		LASGL0950J,E	"English as a medium of instruction" (EMI) courses are courses where academic content is provided in English. These courses provide students from the regular Japanese-language-based program the opportunity to study academic content of their choice in English. Students will experience lectures in English and will practice English language in realistic setting, similar to going abroad to English-speaking university. These courses are part of the G30 international program and are taken together with G30 international students. Taking these courses requires enough English language abilities to understand lectures, participate in discussions and write academic assignments.
現代教養科目	人文・社会系	哲学・思想入門	講義	2		LASCL0100J	世界を全体として理解し、その世界における人間の位置づけ、生きることの意味と価値を根拠から考えようという営み、それは「哲学」(philosophia=知を愛すること)あるいは「思想」(thought=文字通り考えるということそのもの)と呼ばれてきました。哲学・思想の根本問題を取りあげ、受講者とともに考えぬくことを通じて、哲学・思想の広大な世界に触れることを目指します。
		歴史学入門	講義	2		LASCL0101J	たんに過去の出来事を暗記するのではなく、史料から人類の過去を再現するための学問的手続き、その出来事がなぜ起こり、どのような意味をもったのかを考察する歴史的思考を学びます。それにより、自分が生きている時代と世界のあり方を相対化し、大きな座標系において考える習慣を身につけることを目指します。
		言語学入門	講義	2		LASCL0102J	人間は言語を使って考え、言語でコミュニケーションをとって生きています。人間が人間として生きるのに、言語は欠くことができません。しかし、人間にとって当たり前存在である言語には不思議なことも多いです。この不思議なことを考えることを通じて、言語とは何なのかを考えることが本授業の目的です。
		文化・芸術学入門	講義	2		LASCL0103J,E	人間が創造してきた文化を表現する媒体の中心となるのは、文字や音声によって実現される言語です。歴史的資料や思想・文学作品がその代表であるが、しかし文化の表現手段は言語に限られるわけではありません。絵画や彫刻などの図像、あるいは舞踊や儀礼などの視覚的媒体を使用する表現形態もあります。この科目では、多様な媒体を通して実現される文化的創造を全体として「記号」としてとらえ、そこに見られる構造の一般性を解説します。
		社会学入門	講義	2		LASCL0104J	現代社会は、グローバル化という大きな社会変動のなかにあります。グローバル化は90年代に入って加速したが、その潮流は18世紀末にヨーロッパで始まった近代化 modernizationの延長線上に位置するものです。近代化は過去2世紀にわたって社会構造を大きく変え、コミュニティや家族のあり方にも甚大な影響を与えてきました。本講義では、近代化の延長としてのグローバル化が進む現代において、人間生活がいかに根本的な変容を迫られているかについて概説します。
		心理学入門	講義	2		LASCL0105J	人間が自然環境や社会環境に適応する際の心の働きを、実証的に明らかにするのが心理学です。授業では、感覚・知覚・認知、感情と動機づけ、意識・非意識と身体、行動の形成と発達、自己と他者、集団・文化の影響、心の問題とその支援など幅広い分野の中から重要問題を取り上げ、心理学が明らかにした様々なことがらを学びます。

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
		現代社会と教育	講義	2		LASCL0106J	本講義を通して、現代社会が抱える諸問題に対して、教育が果たす役割や考える必要のある事柄、あるいは期待されていることについて追究することを目的とします。受講者の表面的な理解に留まることがないように、学校教育のためのマネジメントや内容・方法、家庭・地域社会・職業生活等の人間形成やそれを支える歴史や教育システム、教育に関わる哲学・社会学・人類学など、授業者の専門に関連付けたトピックスを取り上げて、これまでに学んできたことの意義を再確認したり、今後学ぶこと／教えることの責任や意義を認識したりすることを支援します。
		日本国憲法	講義	2		LASCL0107J	現代社会が抱える課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と憲法学との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につけます。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定されます。
		法学入門	講義	2		LASCL0108J	現代社会が抱える課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と法学との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につけます。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定されます。
		政治学入門	講義	2		LASCL0109J,E	現代社会が抱える課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と政治学との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につけます。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定されます。
		経済概論	講義	2		LASCL0110J,E	現代世界を考える上で、市場経済のメカニズムの理解は必要不可欠です。グローバルな問題、例えば環境問題や南北問題等を市場経済の成果や失敗として読み解くことができます。日本においても、経済構造改革、社会保障改革や格差の問題をめぐる議論で、経済を市場にどこまで委ねるべきかが問われています。この講義では、市場経済の歴史やその仕組みを理解し、現実の経済問題に対する洞察力を高めることを目的とします。
		経営・会計入門	講義	2		LASCL0111J	現代社会における企業活動に関する問題・課題等に触れながら、それに対するアプローチや分析の仕方及び問題を考える際の思考枠組みなどを講義するものです。この意味で、概説的な内容を踏まえながら、近年になって発生した経営／会計の問題、あるいは過去から未だ解決されていないような課題などにも焦点を当て、講義を行う予定です。
	自然系	物理学入門	講義	2		LASCL0200J	我々のまわりの様々な物理現象を積極的に利用して、我々に役立つ物（例えば、自動車や飛行機など）を作る努力がなされています。これらは、単一あるいは複数の物理現象を利用しています。ここでは、これらのいくつかを取り上げ、その現象や応用方法、問題点について学び、理解を深めることを目的とします。
		化学入門	講義	2		LASCL0201J	私たちの住む世界には、周期律表を構成する100種類を超える元素が存在し、この元素の様々な組み合わせにより目を見張るような多種多様な分子が作り出されています。それらの分子は、結合様式、分子構造、反応様式の特徴を生かして、自然界で形作られたり、あるいは化学的に合成されています。また、分子の集合体は、自然界でも、私たちの日常生活でも、多様な機能を持つ材料として利用されています。本講義では、このような分子が作る自然のシステムや材料の機能発現の仕組みを学びます。
		材料科学入門	講義	2		LASCL0202J	私たちの生活はさまざまな人工物に支えられています。これらの人工物はその機能に適した材料からつくられます。その材料を開発することも科学・技術の大事な仕事です。物理学、化学の知識を融合し、新しい材料やデバイスの設計と開発、そして評価をおこなう学問である材料科学の方法と成果を学ぶことが本授業科目の目的です。
		生命科学入門A	講義	2		LASCL0203J,E	生命科学はこの数十年の間に急速に進展し、旧来の学問の枠を越えて物理学、化学など広範囲の自然科学分野を覆う学際的な分野となって来ています。さらに、さまざまなバイオテクノロジーの開発により、遺伝子改変動植物、再生移植医療などの言葉で象徴されるように生命科学は社会と密接に関わり合う学問となってきています。この講義では、現代社会における生命科学の意義の理解を深めるため、現代の生命科学の状況について解説します。

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
		生命科学入門B	講義	2		LASCL0204JE	地球上では多様な環境の中に生物が満ちあふれ、人類もそこに共存しています。また、農業生産物をはじめ、人類が食物として摂取するものもそのほとんどが生物に由来するものです。微生物から動物や植物まで、そして細胞の中の分子レベルの事象から森林や海洋など地球環境レベルの事象まで、生命科学が題材にする分野は大きく広がっています。さらに、再生医療、ゲノム編集、機能性食品、環境浄化、バイオエネルギーなど生命科学は身近で重要な問題の基盤でもあります。この講義では、現代の生命科学を理解するための基礎的な知識を学び、さらに大学や企業で今のような研究が行われているのかについて理解を深めます。
		地球惑星科学入門	講義	2		LASCL0205J	我々が暮らす地球および太陽系の構成や成り立ち、そこで起きる様々な現象に関する基礎的な事柄などについて学ぶことを通して、気候変動、資源の枯渇、自然災害など地球で暮らす我々が抱える様々な問題に向き合う上で必要不可欠な地球惑星科学の知識と考え方を修得します。
		大気水圏科学入門	講義	2		LASCL0206J	大気水圏とは地球表面の大気や水が存在する領域、すなわち大気圏、海洋、陸面を指します。その科学とは、この広範な領域の構造やその変動、そこで生起する様々な現象の理解を目指すもので、地球環境の科学やさらには自然災害科学の一部も含まれます。本講義ではこれらのうちの主要な領域や具体的問題に焦点を当てて、それらの構造やそのなかで起こる多様な現象の構造やメカニズムの理解を目指します。
		現代医学入門	講義	2		LASCL0207J	生命科学の進歩や社会・環境の変革に伴って、医学は刻々と変化しつつあります。マルチオミクス・ビッグデータ・AIを用いた解析・診断や、ゲノム解析に基づく個別化医療・抗体医療などが一例です。本講義では、近年、格段の進歩を遂げた分野を中心に、現代の医学について、受講生が触れるとともに、明日の医学を考える機会とします。
		現代数学入門	講義	2		LASCL0208JE	数学は最も古い学問の一つとして古代ギリシャに端を発し、近代自然科学の基礎及び代表的分野として発展し現代に至っています。そこには数論など最も深く美しい世界とともに、様々な分野と結び付く数理学の広大な世界が広がります。本科目は、高校までの数学の彼方にある、こうした現代数学の多様な世界を紹介することを目的とします。その中で、数学上の概念が定義され、理論が生み出されるという出来事は、きわめて人間的な営みであること、物理学など様々な学問との交渉の上に成立すること、そして新しいものの見方を生み出すものであることを理解することをめざしています。
		放射線と放射能	講義	2		LASCL0209J	現代社会では、医療分野をはじめとした様々な分野で、放射線が利用され、われわれの日常生活を支えています。一方、福島原子力発電所の事故では、多くの人々が不幸な形で、放射線と向き合うこととなりました。このような利便性とリスクの双方を兼ね備えた放射線について正確な知識をもつことは、現代に生きる市民にとって不可欠のリテラシーでしょう。放射線と放射能に関する基礎的な科学的知見を身につけ、放射線に対して正しく対応できるようになることを目指します。
学際・融合系	芸術論A	講義	2		LASCL0300J	伝統的芸術について論じます。伝統的芸術には、絵画・彫刻・音楽・映画などが含まれます。それらの歴史と現在について学びながら、受講生は、技術の一種である芸術が自然とどのような関係を取り結んできたのか、これまで人間や社会が芸術を必要としてきたのはなぜか、芸術が現代の社会に対してどのような役割を果たすことができるのかなど、さまざまな問題について考察します。その過程で、芸術作品の見方、分析の仕方などについても学びます。芸術論Bと補完的です。	
	芸術論B	講義	2		LASCL0301J	メディア芸術について論じます。メディア芸術とは、コンピュータ以降の新しいテクノロジーを用いて制作されただけでなく、サイエンスや新しいテクノロジーについての省察をその内容に含むような芸術のことです。コンピュータ・アート、バイオアート、さらにはある種のデザインやポップカルチャーなども、ここに含まれます。受講生は、新しい作品の理解を通して、現代の社会とそれを支えるテクノロジー、またテクノロジーと自然との関係などについて考察します。芸術論Aと補完的です。	

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
		文化論・芸術論	講義	2		LASCL0302J,E	文化芸術を表象という観点から理解することを目指します。表象とは、心または意識に現前するものを意味し、それは具体的には、文字・画像・音声などを通して現れた形・姿のことです。つまり、美術・文学・音楽・映画など様々な作品はもちろん、文字・画像・音声などの媒体も本科目の対象となります。さらに、その表象が、時代・社会や文化との関係の中で、どのように表現され、また、どのように感受されたのか、といった問題についても考察していきます。
		環境学入門	講義	2		LASCL0303J	文明の進化、科学技術の発展とともに、人間をとりまく環境はますます複雑になっています。人間の活動により自然環境の改変・破壊が進み、地球の温暖化をはじめとする数々の環境問題を生じさせる一方で、社会生活が多様化、複雑化することにより、社会環境も複雑化・不透明化しています。本講義では、自然及び社会の両面にわたる環境諸問題を環境学の視点から学びます。環境という包括的なキーワードにより複合的に眺め、安全で安心、かつ文化的に豊かで持続可能な地球・都市・社会について考えることを目的とします。
		大学でどう生きるか	講義	2		LASCL0304J	人は悩む能力があるからこそ、悩むことができます。そして人は悩むことによって成長します。大学生活の中で悩んだ時に仲間（ピア）の存在は重要です。仲間から支えられながら逆に仲間を支えることで相互に成長することを自分自身の体験を振り返りながら学びます。また大学時代は将来を考える時期でもあります。自分らしい未来のために大学でどう生きるのかを考えます。
		青年期における心の健康	講義	2		LASCL0305J	青年期は心の発達において成人期前の準備段階にあたり、アイデンティティの形成や将来展望、家族からの独立といった多くの課題を抱える時期です。また大学という環境は自由度が格段に広がり、自己決定の機会や能動的な関与が求められるため、青年は大きな環境の変化に直面します。こうした人生において重要な不安定になりやすい時期にある学生に対して、青年期の発達の特徴と意味、陥りやすい精神的問題と解決法、さらには将来展望の持ち方などを講義することによって、学生生活におけるウェルビーイングの向上について考えます。
		クリエイティブイノベーション講座	講義	2		LASCL0306J	本講座では、イノベーションを創り出していくための基本を学びます。イノベーションとは何か？から始まり、アントレプレナーシップ、起業家に必要な考えや行動などの未来を創る法則を学び、今後のキャリアに活かすことを考えていきます。その法則とは、未来を創造することから始まり、戦略を練り、地図を描き、仲間を集めて、武器を持って冒険することです。戦略の練り方、地図の描き方などをワークしながら学び、自らの考えを構築すると共に、先輩起業家等ともディスカッションの機会も作っていきます。
		キャリア形成論	講義	2		LASCL0307J,E	現在、急速な時代の変革で、社会で求められる人材も大きく変化してきました。年功序列や終身雇用という雇用形態も変わりつつあり、ジョブ型雇用やキャリアチェンジを選択されるようになってきました。『キャリア』とは、人生を構成する一連の出来事全てです。大学・大学院時代の経験を基盤に、多種多様なキャリア選択ができる時代です。大学時代・大学を卒業してからの人生とキャリア形成について、様々な職業の方の話を参考に、自らの進路をどう選択していくのかを考え、自らのキャリア形成に繋げていくことを目的とします。
		メディアリテラシー	講義	2		LASCL0308J	ソーシャルメディアが日常に浸透し、デマやフェイクニュースはいつの間にか珍しいものではなくなくなっています。同時に、スマートホンの操作1つで、誤った情報を拡散してしまったり、友人のプライバシーを侵害し、意図せず自分が加害者となってしまう危険と隣り合わせになっています。われわれはメディアとどのように付き合い、使いこなしていけばよいでしょうか。本講義では、テレビ局の協力を得て、メディアリテラシー、テレビ報道と放送の使命やメディアの課題、問題点を考えていきます。ニュース、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなどの番組を制作している記者、ディレクター、アナウンサーや技術者をお招きし、放送の在り方やジャーナリズムについて、現場の体験を踏まえた講義を行います。

科目区分		科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
		社会安全学	講義	2		LASCL0309J	「安全」や「安心」という言葉をよく耳にするが、それはどのような状態なのでしょう？事故、火災、感染症、災害など、自分の回りに多くの危険がある中でどこまでその危険さを理解しているのでしょうか？この講義では、専門分野に限らず、全ての人が安心して暮らすために、その根本となる安全や健康について基礎的な知識を学びます。自身に訪れる危機やリスクを正しく理解し、広い社会で賢く暮らす術を身に付けることを目的とします。
		ジェンダー学	講義	2		LASCL0310J.E	ジェンダーとはなにか、女らしさや男らしさとは何でしょうか。LGBT等の多様性を尊重し、包摂した社会にするには、どうすればよいでしょうか。授業では、性別によらず人が輝ける社会をつくるためのジェンダー平等の重要性を考えるとともに、ジェンダーの視点を通して政治、経済、教育、就活、婚活、少子化、子育てなどのさまざまな問題を考えます。本授業の目的は、1)ジェンダー研究の基本的な概念を理解すること、2)日本およびグローバル社会におけるさまざまなジェンダー問題について理解を深めること、3)多様な立場や側面から物事を捉え、ジェンダー平等を推進するための行動につなげることです。
		学問の面白さを知る	講義	2		LASCL0311J	名古屋大学を代表する優れた研究者の講義をオムニバス形式で聴講することにより、学問の面白さや研究に対する心構えを知ることが目的としています。
		名古屋大学の歴史	講義	2		LASCL0312J	名古屋帝国大学の創立から83年、前身学校から数えれば151年におよぶ名古屋大学の歴史を、沿革、教育、研究、学生生活、人物など様々な面から知ってもらうことを第一の目的とします。それらを通じて、これから長く学ぶ場所となる名古屋大学への理解を深め、その学生としてのアイデンティティを自分なりに形成する一助とします。また、名古屋大学の歴史を通じて、明治維新後の高等教育史や名古屋を中心とする地域の歴史を学ぶこともねらいとします。
		防災減災学	講義	2		LASCL0313J.E	自然災害に対するリスクが様々な要因により増大し、社会の持続可能性にも影響を与えかねないと指摘されています。地球環境変化も考慮したハザード予測、現代社会が抱える脆弱性、災害を誘発する条件、災害がおきた際の柔軟な対応力（レジリンス）などを客観的に分析することが求められています。また、今後の防災・減災のポイントは様々な専門分野の知恵を総動員し、協働することにあります。次代を担う皆さん自身が今後の針路において、「なにをすべきか」「なにを学ぶべきか」を考えるきっかけを作ります。
		博物館概論	講義	2		LASCL0314J	博物館に関する基礎的知識の習得を目的とします。本授業では、受講生が、博物館の目的・社会的役割・歴史・関連法規、学芸員の職務や職業倫理、多岐にわたる博物館活動（資料の収集管理、研究、展示普及など社会教育など）、内外の代表的博物館の設立理念と現状などについての基礎的な知識を獲得することを目指します。
		科学論・技術論	講義	2		LASCL0315J	科学あるいは技術という営みはそもそもどんな方法と目的によって特徴づけられるのか。それが提供する科学知・技術知はどんな特質をもつか。科学・技術と社会の良好な関係を構築するにはどうすればよいのか。こうした科学と技術についての原理的・根本的な問いに対して、哲学、科学技術社会論のアプローチにより答えることを目指します。
		科学史・技術史	講義	2		LASCL0316J	科学や技術がどのようなものであるのかを深く理解し、その健全な発展の道筋を考えるためには、現在の科学技術の姿だけでなく、それらがいかなる社会的背景のもとでどのような経緯で成立してきたのかを知ることが重要な手がかりとなります。この科目では、そうした歴史的視点から、どのようにして近代科学技術が成立したのか、また、それらの成立後に、どのような発展があったのかといったトピックを概観します。
		科学・技術の倫理	講義	2		LASCL0317J	科学技術をめぐっては、原子力の問題、事故や安全性の問題、環境の問題、先端医療の問題などさまざまな倫理問題が生じています。この科目では、科学技術にたずさわる研究者・技術者はいかに行動すべきか、周囲の市民はいかに行動すべきか、さらには科学技術をめぐる政策や社会環境はどうあるべきかといった問題について理解を深めることを目的とします。

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
超学部セミナー	超学部セミナー	-	-		LASPB1901J,E	自らの目指す専門性が自覚された学部3～4年次において、異なる分野を学ぶ学生が学部・学年を超えたチームを組み、自主的に設定した課題の解決のためにみんなで考え力を合わせる主体的経験を共有します。これを通じ、リーダーシップとチームワーク、異分野への開かれた態度、多様な人々の協調による課題解決能力を身につけることを目的とします。

分野別基礎科目	人文・社会系基礎科目	哲学	講義	2		LASBH0900J	哲学という学問は現代の諸学問のルーツであって、その本義は「知恵を愛すること」である。知恵を愛するとは、もの知りを目指すことではなく、ものごとの究極の原因や原理を学問的に探求することである。哲学の目的は、人間や世界について深く知ることを通して、人がよりよい生を営むことにあります。内容的には、こころ、認識、ことば、論理、存在、社会、生命、自然、環境、科学の基礎、倫理、宗教、神などの問題群があります。
		歴史学	講義	2		LASBH0901J,E	単に過去の出来事を叙述するのが歴史学ではありません。たしかに歴史学は史料（おもに文献史料）を材料とし、厳密な史料批判や考証を行うことによって人類の過去の足跡、人間という存在の多様性を明らかにしようとしています。しかし、同時にそれを通じて自分の生きている時代と世界を相対化し、客観的に見る習慣を身につけることも歴史研究の大きな目的の一つです。その意味で歴史学は激動の現代に生きる人間に必須の教養といえるでしょう。
		文学	講義	2		LASBH0902J,E	洋の東西を問わず、文学は虚構の世界の出来事や作中人物の言動を通して、人生の本質にかかわる問題や社会の問題を極めてリアルに読者の感性に直接訴えて感動を呼び起こします。読者は共感したり、時に反発したりしながら、過去の人と社会について学び、現在について考え、未来を見通そうとします。教科書掲載作品を中心とし表現の正確な読み取りを重視する高校までと異なり、大学の授業においては様々な文学作品を取り上げ、多様な読解の仕方を学びながら、作品のより深い理解を目指します。
		地理学	講義	2		LASBH0903J	グローバル化がすすむ今日、地球上には未知の土地はもうほとんどのこっていません。しかし、この多様な世界は、ますます複雑に発展し、これをどう認識するかは私たち人類の大きな課題となっています。本講義では、身近な場所に対する複雑な感情からグローバルに展開する環境問題まで、地表上の様々な現象を空間・場所・地域・環境といった概念を鍵に、体系的に考察します。
		社会学	講義	2		LASBH0904J	グローバル化などの大きな社会変動のなかで、現代社会はますます不透明になっています。さらに、文系理系を問わず、個別の学問的研究を行うことの社会的な意味を理解するためにも、社会的な考え方を身につける必要が高まっています。この講義では、変動する社会と個人の関わりを捉える方法の修得を目的とし、身近な社会現象などを素材として適宜取り上げながら社会学の理論と実証的知見を紹介することで、受講者の皆さんが社会について自ら考える手がかりとします。
		心理学	講義	2		LASBH0905J	心理学で扱われる問題は多岐にわたり、見ること・感じること・学ぶことといった基礎的な問題から、人間の発達や対人関係、集団や文化、そして心の問題に至るまで、さまざまな心理現象が研究対象とされます。本授業科目では、こころの世界の法則性を追求し、人間の心理や行動についての理解を深めることを目指します。
		比較文化論	講義	2		LASBH0906J,E	今日の世界では、文化的背景の相違に根ざした対立や紛争が深刻化しつつあります。このような世界に暮らす私たちには、まず文化の多様性を承認しようとする姿勢が必要です。しかしながら、一方で文化の多様性を強調するあまり、異文化をあたかも別世界の人々の話として「他者化」することは、人間としての共感を失わせ、結果的に異文化に対する無理解や無関心につながる恐れもあります。そこで本科目では、文化を相互に比較する作業をつうじて、文化の多様性だけでなく、それらにみられる共通点にも注目し、人間と文化に関する普遍的な知見と視野を学ぶことを目的とします。

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
	宗教学・文化人類学	講義	2		LASBH0907J	宗教は歴史の最初期から文化変容の大きな動因となってきました。そして、宗教対立・紛争、宗教原理主義といった問題を通じて、現在でもわれわれの文化と社会の大きな規定要因となっています。宗教という信念体系を人類の文化全体の中に置いて、その歴史的役割と現代的課題を明らかにすることを通じて、人間が世界を捉え、意味づけていく枠組みとしての宗教に対して、冷静で客観的な視点をとることができるようになることを目指します。
	アーカイブズ学	講義	2		LASBH0908J	私たちは、歴史的な文書を確実に後世に残して、将来の社会や人々に対する説明責任を果たすという、日本がおおそかにしてきた問題と、正面から向き合うべき時代に生きています。アーカイブズ学とは、アーカイブズ（記録史料）の管理、成立・構造・伝来、教育・普及などに関する研究から構成されており、歴史学、社会学、情報学など既存の学問分野と連携しつつ、独自の領域をもつものです。このアーカイブズ学の基礎を学ぶことにより、社会における文書史料の利用方法や、行政機関や企業における情報公開・文書資料閲覧のサービス部門や文書管理部門の業務に役立つ知識を修得することを目的とします。
	教育学	講義	2		LASBH0909J	#N/A
	比較教育論	講義	2		LASBH0910J	各国の教育制度の特質や人間形成のあり方、また各国が抱える共通の教育問題を比較考察することにより、グローバルな視点から教育現象を考察することを目的とします。具体的には、各国の教育改革の動向や固有の教育問題、宗教と教育、開発教育や基礎教育の普及の問題など、テーマに沿っていくつかの国・地域を取り上げます。これらの考察により、日本を含む各国の教育を様々な視点から分析し、多面的に考える視点を提供します。
	高等教育学	講義	2		LASBH0911J	私たちが身を置いている「大学」は高等教育制度の中核を成しています。しかし、そもそも大学とは何だろう。大学の在り方や社会的な役割、そして大学教育はどうあるべきなのか、変わりゆく社会に大学はどのように対峙し質を担保するのでしょうか。こうした問いを学問的に考察する営みが高等教育学です。本授業での学びを通じて、学生がより広い視野から大学や高等教育を相対化して眺めるようになることが本授業の目的です。
	日本国憲法	講義	2	法学部の学生が受講しても、卒業要件単位として認められません	LASBH0912J	現代社会が抱える課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と憲法学との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につけます。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定されます。
	法学	講義	2	法学部の学生が受講しても、卒業要件単位として認められません	LASBH0913J	人文・社会科学系の専門分野を学んでいく基盤として、法学の分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につけます。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定されます。
	政治学	講義	2	法学部の学生が受講しても、卒業要件単位として認められません	LASBH0914J,E	人文・社会科学系の専門分野を学んでいく基盤として、政治学の分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につけます。具体的に扱うテーマは、担当教員の専門分野や関心に応じて設定されます。
	経済学	講義	2		LASBH0915J,E	経済学を初めて学ぶ受講生を対象として、経済学の基礎を講義します。現実の経済活動は多種多様であり、経済の動きは複雑ですが、経済学はそれらを抽象化し理論化することで、さまざまな経済問題の根源を明らかにし、また経済の全体像を包括的に理解しようとしてきました。本講義は、経済理論、経済史、経済思想の立場から、経済学の基盤となる論理を受講生に理解させることを主たる目的とします。
	経営・会計	講義	2		LASBH0916J,E	経済活動の重要な担い手の一つである企業活動を対象とするものとします。実際の企業活動は、非常に多種多様で複雑であり、それをそのまま記述した場合、当該企業に関する個別的な知識は増大するが、その全体像を包括的に理解することは困難です。そこで、本講義は、具体的な事例を参考にしながらも、企業活動の基盤となる論理を、経営学あるいは会計学の立場から、受講生に理解させることを主たる目的とします。

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
	統計学	講義	2		LASBH0917J	統計学または統計的手法は、社会科学、自然科学などの多くの分野で、様々な形で利用されています。本講義の目的は、母数の推定、統計的仮説検定などの基礎理論を解説することです。統計学の学習には、確率論の初歩理論の理解が欠かせないので、確率分布、大数の法則、中心極限定理など確率論の基礎に関して講義します。さらに母集団と標本、標本分布など統計学の用語を講義し、本題の推測統計学の基礎を解説します。適宜、演習を行います。
自然系基礎科目	微分積分学I	講義	2		LASBN0900J,E	定量的変化を記述・分析する数学の分野が解析学であり、その中心的方法は微分積分学です。それは自然科学において必須の研究手法であるが、さらに近年社会科学などにも広く応用されます。本科目は通年講義の前半として、1変数微分積分学の基本を理解することを目的とします。特に極限の本質を理解し、対数関数・三角関数など初等関数の自由な解析的扱いができるようになることを重視します。
	微分積分学II	講義	2		LASBN0901J,E	定量的変化を記述・分析する数学の分野が解析学であり、その中心的方法は微分積分学です。それは自然科学、さらに近年社会科学などにも広く応用される重要な研究手法です。本科目は通年講義の後半として、多変数微分積分学の基本を理解し、様々な計算に習熟して応用できるようになることを目的とします。特に幾何学(空間)的イメージと結び付いた理解を重視します。
	線形代数学I	講義	2		LASBN0902J,E	「線形性」は近代科学における数量的取り扱いの最も基本的な概念であり、あらゆる分野で用いられます。その線形性を数学的に扱う手法が線形代数学です。本科目は通年講義の前半として、行列・(数)ベクトルの数学的取り扱いに習熟し、諸概念を理解することを目的とします。特に座標幾何学(平面・立体)による幾何学的理解、連立一次方程式の解法への習熟、行列式の概念の理解を重視します。
	線形代数学II	講義	2		LASBN0903J,E	「線形性」は近代科学における数量的取り扱いの最も基本的な概念であり、あらゆる分野で用いられます。その線形性を数学的に扱う手法が線形代数学です。本科目は通年講義の後半として、ベクトル空間とその線形変換の概念の理解および行列を用いた数学的取り扱いへの習熟を目的とします。特に基底、標準化、直交性、固有値などの基本的諸概念の理解・扱いの習熟を重視します。
	複素関数論	講義	2		LASBN1900J,E	複素関数は、自然科学の様々な箇所に現れ、基本的役割を果たすとともに幅広い応用を持っています。特にその微分積分学は、実数のそれと全く異なった美しく統一的な世界を形作っています。本科目はこうした複素関数の微分積分学の基礎、特に複素解析関数の基本的性質を学び、応用上重要な、その様々の取り扱いに習熟することを目的とします。特にべき級数及び複素積分の取り扱いを重視します。
	数学通論I	講義	2		LASBN0904J	数学は近代科学の言語および手法として不可欠のものとなっています。中でも最も基本となっているのは微分積分学と線形代数学です。本科目は微分積分学の基礎理解をその目的とします。特に対数関数・三角関数など初等関数を理解し、自由な解析的扱いができるようになることを重視します。高校数学との接続を考慮し、直感的見方の紹介、確率や統計学などへの応用の言及などにより理解を容易にします。
	数学通論II	講義	2		LASBN0905J	数学は近代科学の言語および手法として不可欠のものとなっています。中でも最も基本となっているのは微分積分学と線形代数学です。本科目は線形代数学の基礎理解をその目的とします。特に座標幾何学、行列の取り扱い、連立一次方程式の解法などに習熟します。ここで幾何学(空間)的イメージと結び付いた理解、代数や微分方程式論・統計などとの関連などを重視します。
	数学特別講義	講義	-	随意科目	LASBN1901E	
	力学I	講義	2		LASBN0910J	現代科学技術における重要な基礎分野の一つである古典力学の基礎を、慣性系における1個の質点の運動を例にとって講義します。力、質量、運動量、仕事、エネルギー、保存則、運動方程式、次元解析などの物理的概念に加え、座標系、ベクトル、ベクトル演算などの数学的概念を説明します。このことによって、力学の基本概念と手法について理解を深めるとともに、理工系分野を学ぶための基礎学力を養うことを目指します。この科目は、力学を直接必要としない分野の学生にとっても自然科学を学ぶための重要な基礎となります。

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
	力学II	講義	2		LASBN0911J	力学Iの内容を発展させ、複数の質点の相対運動や非慣性系での質点の運動、剛体の運動を取り扱います。力のモーメント、慣性モーメント、角運動量、重心と相対運動、慣性力などの概念を説明します。このことによって、力学の基本概念と手法について理解を深めるとともに、理工系分野を学ぶための基礎学力を養うことを目指します。この科目は、力学を直接必要としない分野の学生にとっても自然科学を学ぶための重要な基礎となります。
	電磁気学I	講義	2		LASBN0912J	電磁気学は、現代科学技術における重要な基礎分野の一つです。本講義では、時間とともに変化する事のない静的な電磁場（電磁界）を主に取り扱います。遠隔作用の法則（クーロンの法則やビオ・サバールの法則）と近接作用の法則（ガウスの法則やアンペールの法則）との関係について解説するとともに、静電ポテンシャル、電気力線などの物理的概念や、ベクトル解析などの数学的手法を説明します。このことによって、電磁気学の基本概念と手法について理解を深めるとともに、理工系分野を学ぶ基礎学力を養うことを目指します。この科目は、電磁気学を直接必要としない分野の学生にとっても自然科学を学ぶための重要な基礎となります。
	電磁気学II	講義	2		LASBN0913J	電磁気学Iの内容を発展させ、時間とともに変化する電磁場（電磁界）を取り扱います。起電力、電磁誘導、変位電流、電磁場（電磁界）のエネルギーなどの概念に加え、交流回路におけるオームの法則、キルヒホッフの法則、複素インピーダンスなどの概念を説明します。このことによって、電磁気学の基本概念と手法について理解を深めるとともに、理工系分野を学ぶ基礎学力を養うことを目指します。この科目は、電磁気学を直接必要としない分野の学生にとっても自然科学を学ぶための重要な基礎となります。
	物理学基礎I	講義	2		LASBN0914J,E	物理学を学ぶ上で最も基本となる力学の講義であり、初年度の理系学部学生（力学Iを履修する学生を除く）を対象として開講される授業です。力、仕事、運動量、角運動量、エネルギー、保存則などの諸概念を講義し、自然界におけるさまざまな現象が運動方程式という基本法則によって理解されることを説明します。また、力学を理論的に記述するために用いられる座標系、ベクトル、ベクトル演算、微分・積分、微分方程式など数学的方法についても修得します。
	物理学基礎II	講義	2		LASBN0915J,E	力学とともに古典物理学の重要な基礎となっている電磁気学の講義であり、初年度の理系学部学生（電磁気学Iを履修する学生を除く）を対象として開講される授業です。電磁気学では、日常生活から先端技術開発に至るまで広く応用されている電気・磁気の現象やその法則を知り、さらに場の概念の導入によってそれらの現象から体系的な電磁気学の法則に帰納していく過程を学びます。
	物理学実験	実験	2		LASBN0917J,E	実験科学としての物理学を体得することを目的とした実験の授業で、物理学基礎、力学、電磁気学の講義とともに、理系学部学生を対象として開講されます。授業では、学生自らさまざまな物理量を測定したり、物理現象を観察することを通して、その背景にある法則を理解し、基本的な測定の方法と原理、実験の技術などの基本を習得することを目的とします。さらに、演習によって、測定データの記録と処理、表現の方法についても学びます。
	化学基礎I	講義	2		LASBN0920J,E	化学は物質とその変化を扱う学問領域であり、広く理系分野の基礎となります。その対象は、原子から、様々な分子、高分子、固体、液体、さらに生体に存在する物質や地球環境に存在する物質、また、宇宙を形成している物質にまで及びます。私達は、様々な物質に囲まれて、これらを活用して生活を営んでいるので、物質とその振る舞いについての理解は重要です。化学基礎I,IIは、通年で連続して受講することにより、原子、分子などの物質の基本的単位がどのように組み立てられるかをはじめとして、様々な物質の構造とそのはたらき、物質へのエネルギーの出入り、化学反応の進み方、さらには生命現象や生活と物質とのかわりなど、化学の基本的事項と魅力を体系的に学べるよう計画されています。

科目区分	科目名	授業の方法	単位	備考	ナンバリング	授業の目的
	化学基礎II	講義	2		LASBN0921J,E	化学は物質とその変化を扱う学問領域であり、広く理系分野の基礎となります。その対象は、原子から、様々な分子、高分子、固体、液体、さらに生体に存在する物質や地球環境に存在する物質、また、宇宙を形成している物質にまで及びます。私達は、様々な物質に囲まれ、これらを活用して生活を営んでいるので、物質とその振る舞いについての理解は重要です。化学基礎Ⅰ,Ⅱは、通年で連続して受講することにより、原子、分子などの物質の基本的単位がどのように組み立てられるかをはじめとして、様々な物質の構造とそのはたらき、物質へのエネルギーの出入り、化学反応の進み方、さらには生命現象や生活と物質とのかかわりなど、化学の基本的事項と魅力を体系的に学べるよう計画されています。
	化学実験	実験	2		LASBN0922J,E	化学への理解と興味は、講義を聴いて知識を得るのみではなく、自らが実験を行い自分の目や鼻などを通じて実際に得られた知見を通じて深められます。この科目では、原子分子の成り立ち、化学分析、化合物の合成、反応解析など、化学の様々な分野における課題を対象とした実験と演習を行うことにより、講義で述べられた範囲を補い化学への理解を深めます。さらに、これらの実験操作を通じて、物質を安全に取り扱うための基本的な注意事項、各種化学薬品・器具・機器の操作法などを修得します。また、実験レポートの作成を通じて、分かりやすく簡潔に実験内容をまとめる手法を学び、実験結果について考察することにより物質科学に関する知識や論理的な思考力を養います。
	生物学基礎I	講義	2		LASBN0930J,E	細胞は、生物体を構成する基本単位であると同時に、自己増殖を可能とする最小単位でもあります。本講義では、細胞ならびに細胞を構成する細胞小器官の構造と機能を学ぶことにより、生命現象の基本的な仕組みについての理解を深めることを目的とします。また、生命を支える核酸やたんぱく質、脂質、多糖類などの生体高分子、エネルギー、ならびに代謝などについても理解を深めます。本講義より、生物学基礎Ⅱの講義の学修に必要な生物学の基礎知識を身につけます。
	生物学基礎II	講義	2		LASBN0931J,E	動物や植物は、分化した細胞で組織や器官を構成し、それを統合することによって、単一の細胞では発揮できない様々な高次の生物機能を発揮します。本講義では、生物学基礎Ⅰで学修した生物学の基礎知識に基づき、動物や植物における個体レベルの高次生物機能の意義と仕組みについての理解を深めることを目的とします。これらの理解を通して、生命現象の普遍性と多様性について考えます。
	生物学実験	実験	2		LASBN0932J,E	動物、植物、微生物など、さまざまな生物を使って、さまざまな観察や実験を行います。生物の扱い方や観察方法、観察機器の操作方法に加えて、肉眼観察、顕微鏡観察、動物の解剖、学内の植生調査などを通して、生物の構造や機能を学びます。
	地球科学基礎I	講義	2		LASBN0940J,E	我々の住む地球がどのような特徴をもった惑星であるのかを理解するとともに、地球惑星科学を概観することを目的とします。このため、宇宙や太陽系の中での地球の起源、地球の形状と内部構造、地球を構成する物質の種類や性質、岩石圏で発生する地震、水圏・気圏も含めた地球の表層環境などについて解説し、地球に対する理解を深めます。また地球惑星科学で用いられている代表的な研究方法なども紹介します。
	地球科学基礎II	講義	2		LASBN0941J,E	我々の住む地球がどのような特徴をもった惑星であるのかを理解するとともに、地球惑星科学を概観することを目的とします。このため、宇宙や太陽系の中での地球の起源、地球の形状と内部構造、地球を構成する物質の種類や性質、岩石圏で発生する地震、水圏・気圏も含めた地球の表層環境などについて解説し、地球に対する理解を深めます。また地球惑星科学で用いられている代表的な研究方法なども紹介します。
	地球科学実験	実験	2		LASBN0942J	地球科学の中でも特に地質に関係した分野について学ぶ上で基本的となる技術、すなわち地形図や地質図の見方、肉眼や偏光顕微鏡を用いた岩石・鉱物鑑定、化石の観察について室内実験を通して習得します。それと並行して、期間中の休日に1回、野外見学に参加し、講義や実験で学ぶ事項が野外でどのような形で現れているのか実際に目で確かめることによって、より具体的に地球科学の基礎を体得できるようにします。

(注) 国際理解科目のEMI科目、超学部セミナー、自然系基礎科目の数学特別講義に係る授業科目及び単位数等及び健康・スポーツ科学実習A及びBに係る授業科目は、履修登録の際に別途お知らせします。